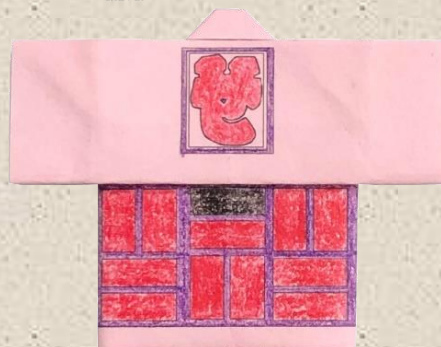
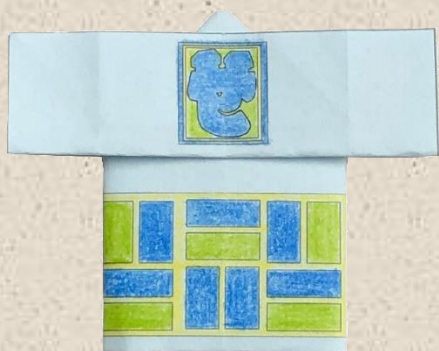
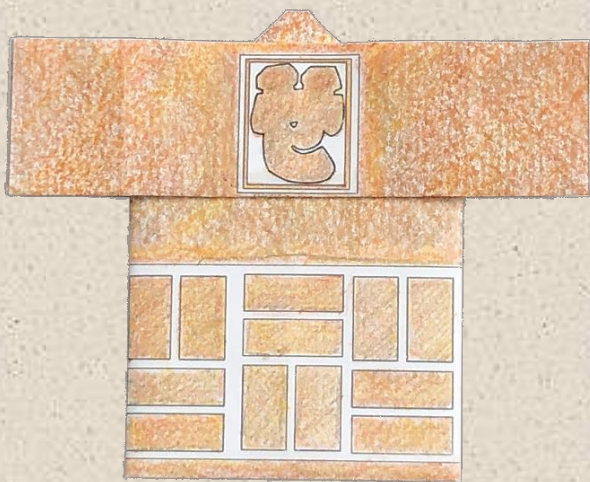


折り紙で半てんを作ろう！

このワークショップは、**展覧会「染色家 芹沢銈介と考古学者 芹沢長介 ふたりの仕事と選び抜く眼」** (2008.4.21~7.21)に合わせ実施したものを再構成しました。右の当館所蔵品「**せの字紋革羽織(印半纏)**」を参考にして作ります。



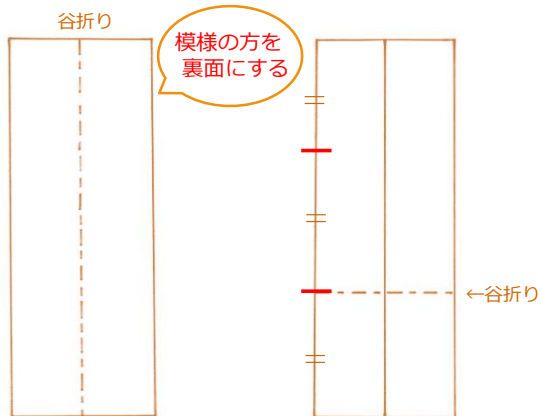
じもんかわばおりしるしばんでん
せの字紋革羽織(印半纏)

江戸時代、火消が用いた羽織です。火事場だけでなく陣頭指揮をする人が着ていたようです。革や羅紗(らしゃ)、木綿の刺し子仕立てで作られました。これは燻革製(ふすべかわせい)です。当館所蔵品の1点で背中に「せ」、襟の内側にも「せ組」と染められています。

※羅紗：厚地の毛織物 ※燻革：煙でいぶして茶褐色にした革

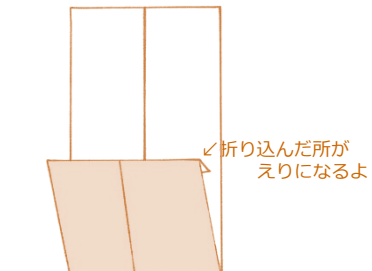


半てんの作り方



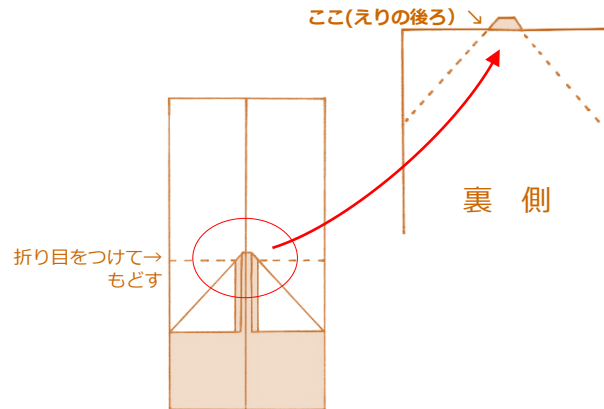
1. 折り目をつける

2. 1/3のところで折る

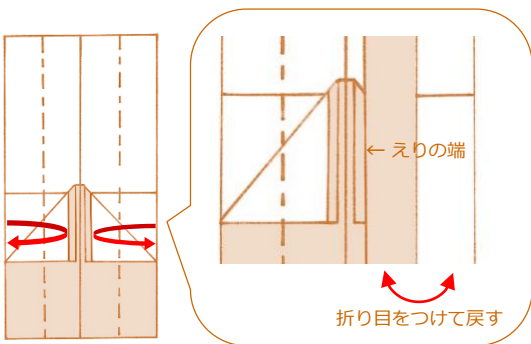


3. 下の部分を4mm程折り込む

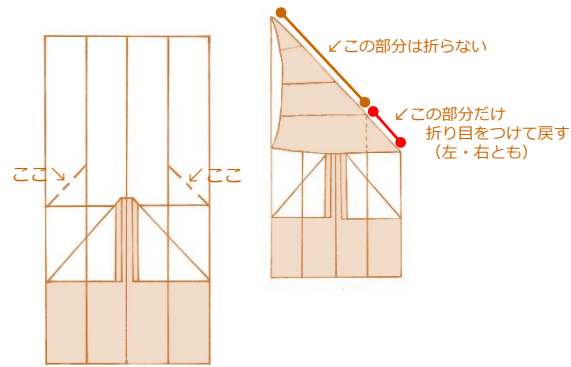
4. 中心にすき間を作るように折る



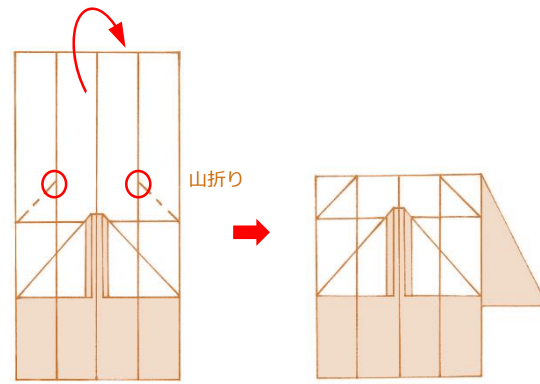
5. えりの後ろの線で折り、折り目をつけて戻す



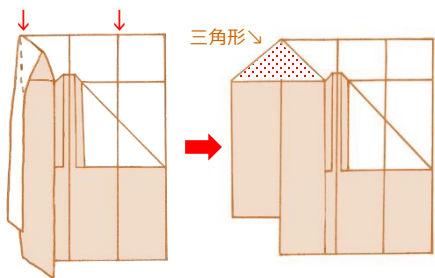
6. えりの端に合わせて折り目をつけて戻す



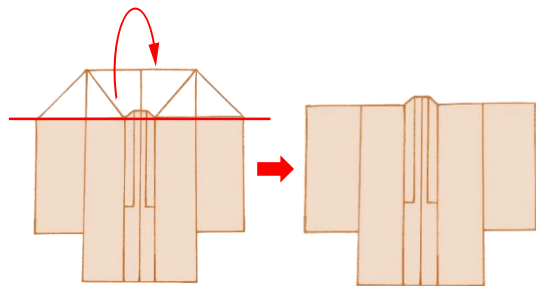
7. 折り目をつける



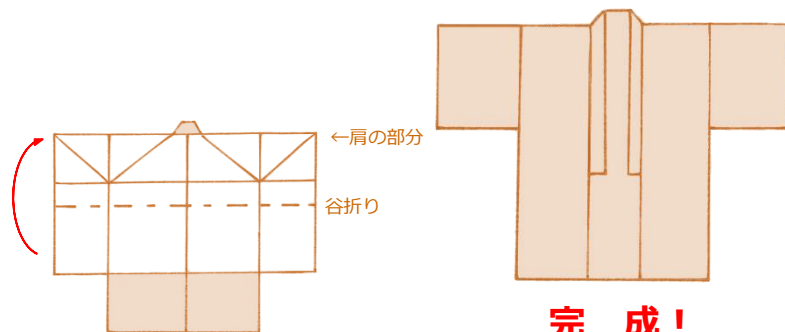
8. ○印の所で折る



9. 矢印の所で三角形が出来るように折る



10. 線の所で後ろに折る



11. 裏返し、肩の部分に合わせて折る

完成!

印刷して使ってね

A4サイズ原寸!

「せの字紋革羽織」

好きな色をぬってから
折ってみよう!



次はオリジナル!

自由に模様を描いて
折ってみよう!



出来上り寸法：約6.2(タテ)cm×7.5(ヨコ)cm

